

食道癌放射線治療後の局所遺残・再発症例に対する内視鏡治療症例の遡及的検討

1. 研究の対象

2012 年 1 月から 2019 年 12 月の期間に、食道癌放射線/化学放射線治療後に局所遺残・再発と診断され、当院で治療が行われた方。

2. 研究目的・方法

目的：食道放射線/化学放射線治療後の局所遺残・再発に対する内視鏡治療の安全性・有効性・妥当性を明らかにすることです。

方法：上記期間に食道放射線/化学放射線治療後の局所遺残・再発と診断され、当院で内視鏡治療を受けられた方の内視鏡所見や治療成績などをさかのぼって検討します。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：診療録(内視鏡検査所見等)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者：

大阪国際がんセンター 消化管内科 谷 泰弘

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上